

Bonjour à tous. 受講生のみなさまこんにちは。  
 2018年夏学期がスタートしました！アンスティチュ・フランセ日本の通信講座をご利用いただきありがとうございます。  
 今年は梅雨明けも早く、暑い日々が続いていますね。上手に暑さを乗り切りながら、体調に気をつけて、元気に夏のフランス語学習を進めましょう！  
 添削答案をご返却する際に、毎回同封するこの Lettre de l'Institut では、事務局からのお知らせのほかフランス語学習に関する様々な情報を提供いたします！今回は今学期最初の Lettre にて、主に通信講座のサービス内容についてご案内いたします。お手元の「受講生ガイド」とあわせてご覧ください。  
 今学期もどうぞよろしくお願ひいたします！



## ■ Infos pratiques 1 - 通信講座の学習サポートについて

受講コースの課題に取り組む一方で、ぜひ通信講座の学習サポートを活用してみましょう。  
 質問をしたり、実際にフランス語で話してみることで、コミュニケーション力を含めたフランス語の総合力をつけていくためのサポートです！

### ▶ 1. 質問

答案の添削後、模範解答を熟読しても理解できないところがある場合は、下記の方法で質問ができます。疑問点をそのままにすることなく、しっかり質問をすることで、フランス語の理解を深めていきましょう！

● 質問の仕方  メール：soutien@institutfrancais.jp

FAX：03-5206-2861

答案に同封

※ 答案用紙とは別の用紙 (A4 用紙) に質問事項をまとめてFAXにて送信、または、答案と合わせて郵送、にてお送りください。 受講生コード、コースコード、お名前をお忘れなく！

【ご注意】 答案用紙に直接質問を記入、またはメモ用紙や付箋を答案に貼ってのご質問にはお答えできませんのでご注意ください。内容は通信コースに関する質問に限ります。  
 まずは添削された答案と模範解答に目を通し、疑問点を整理してみましょう！



### ▶ 2. テレフォンサポート

「どのように利用すればいいの？」「フランス人の先生といきなり話すのは緊張…」など、初めてご利用になる方は不安に感じられるかもしれませんが、とにかくチャレンジしてみることで、フランス語のコミュニケーション能力をのばしていきましょう！筆記課題に取り組むだけでなく、フランス語で話してみる絶好のチャンスです！

- テレフォンサポートは予約制です。教材に入っているテレフォンサポートスケジュール表をご覧ください、お電話で (03-5206-2860) ご予約ください。1 回ずつご予約を承ります。予約の回が終わったら、次のご予約のお電話をお願いいたします。
- 2 つ以上のコースを同時に受講されている方は、コースの数だけご予約をおとりいただけます。
- スカイプでの受講希望の方はご予約の際にお知らせ下さい。

(予約日時までにSkype ID: tsushin01 へコンタクト申請が必要です。)

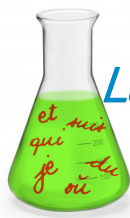


## ■ Infos pratiques 2 - 夏季休業のお知らせ

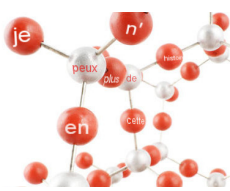
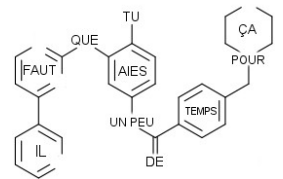
2018年8月1日(水)～8月12日(日)は、夏季休暇によりアンスティチュ・フランセ東京全館休館となり、通信講座事務局もお休みになります。その間にお送りいただいたメールなどのお問い合わせについては、返信がお休み明けとなりお時間がかかる可能性がありますので、ご理解いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

## ■ Infos pratiques 3 - 通信・オンライン講座事務局 学院内事務所移転のお知らせ

通信・オンライン講座事務局は、学院内にて事務所移転となりました。ご質問などに来館される際は、お手数ですがまず総合受付までお越し頂き、お申し出頂きますと幸いです。答案提出は総合受付裏のポストへお入れいただくことが可能です。



辞書に載っている単語と言語の関係は、原子と自然の関係に似ています。単語は原子と同じように、すべてのもととなる基本要素です。自然界で、原子は決して単体では存在していません。ほかの原子と結びついて分子となり、その分子が生命体を構成します。単語も同じです。単語はけっして孤立しておらず、お互いにひきつけあったり、反発しあったり、決まった方法で配列されたりします。



「成句」と呼ばれるこうした単語の組み合わせが、言語の本当の構成要素です。話すときに役立つのはこうした成句なのです。言語を学ぶということは「コトバの化学」を学ぶことにほかなりません。このコラムでは、フランス語でよく使われることばの組み合わせを見ていきましょう。ひとつひとつの単語は皆さんがよく知っているものですが、その組み合わせには初めて目にするものがあるかもしれませんね。

今回は動詞 *mettre* を使った三つの表現を見ていきましょう。

表現	例文	例文の訳	*
<i>se mettre au travail</i>	Il est temps de <b>se mettre au travail</b> si on veut finir à temps ce projet !	期限内にこのプロジェクトを終えたければ、もう仕事にとりかからなくちゃ。	<input type="checkbox"/>
<i>y mettre du sien</i>	Il va falloir que tu <b>y mettes du tien</b> si tu veux réussir.	成功したいなら君も協力しなくちゃいけないよ。	<input type="checkbox"/>
<i>se mettre en colère</i>	Je <b>me suis mise en colère</b> lorsque j'ai su qu'il avait cassé mon vase préféré.	彼が私のお気に入りの花瓶を壊したと聞いて、頭にきました。	<input type="checkbox"/>

\* これらの言い回しを知っていたかどうか、自分でチェックしてみましょう。

● その他の様々な例文:

*se mettre au travail*

Dès qu'il a vu son chef approcher, il <b>s'est mis au travail</b> .	上司が近づいてきたとたん、彼は仕事を始めた。
Si on ne <b>se met</b> pas très vite <b>au travail</b> , on est sûrs de finir en retard.	すぐに仕事にとりかからなければ、絶対に締め切りに間に合わなくなるよ。
Nous <b>nous sommes mis</b> tout de suite <b>au travail</b> pour être prêts le jour du mariage.	結婚式の日にすべて準備万端となるよう、私たちはすぐ仕事にとりかかった。

*y mettre du sien*

Elle devrait <b>y mettre</b> plus <b>du sien</b> si elle veut remporter ce concours.	このコンクールで優勝したいなら、彼女はもっと努力するべきでしょう。
Vous allez devoir <b>y mettre du vôtre</b> pour que cet événement soit une réussite.	このイベントを成功させるには、もっとがんばる必要がありますよ。
Nous <b>n'y mettrons du nôtre</b> que si notre employeur tient compte de nos demandes.	雇用主がこちらの要求を受け入れない限り、私たちは譲歩しないでしょう。

*se mettre en colère*

Ce n'est pas la peine de <b>se mettre en colère</b> , parlons calmement.	怒っても仕方がない、冷静に話をしよう。
Tu n'aurais pas dû <b>te mettre en colère</b> comme ça contre ton ami.	友達に対してこんな風に腹を立てるべきではなかったよ。
J'avais à peine commencé à parler qu'il <b>s'est mis en colère</b> .	私が話し始めるやいなや、彼は怒り出した。

● チャレンジしてみましょう！

I. 適切な文になるように、右側と左側をつないでみましょう：

- |   |  |
|---|--|
| 1 Après cette longue pause-déjeuner         | a il va falloir qu'il y mette du sien. |
| 2 S'il veut avoir son permis                | b il s'est mis finalement au travail.  |
| 3 Comme il ne voulait pas faire ses devoirs | c sa mère s'est mise en colère.        |

II. 空欄に適切な単語を入れてみましょう：

- Il s'est tout de suite \_\_\_\_\_ car il ne voulait pas échouer à son examen.
- Ils n'\_\_\_\_\_ ont pas assez \_\_\_\_\_ et ils ont donc fait un très mauvais match.
- Elle s'est \_\_\_\_\_ contre son mari car il avait oublié son anniversaire.

Si quelqu'un à qui vous demandez quelque chose refuse de **se mettre au travail** ou ne veut pas **y mettre du sien**, est-ce que vous **vous mettez en colère** ?... Ça peut arriver, mais il vaut mieux éviter quand même !

解答：  
I. 1 : b 2 : a 3 : c  
II. 1 : mis au travail 2 : y / mis du leur 3 : mise en colère